

「データ市場に係る競争政策に関する検討会」報告書について

令和3年6月25日
公正取引委員会
競争政策研究センター

近年、データは、デジタル時代における競争力の源泉であるとの認識が広がりにつつあり、変化の激しいデジタル時代の競争の場は、いわゆるオンライン・プラットフォーム型の事業者が検索やSNS等のサービスを提供する「サイバー空間」から、サイバー空間で解析したデータを活用して、自動運転、医療・介護、農業等、フィジカル（現実）空間のビジネスの高度化を図る、「サイバーとフィジカルの融合」を競う場に移行するとの見方がなされています。

世界においては、急速に変化するデジタル時代における競争を念頭に置いて、安全かつ高品質・大量のデータに容易にアクセスできるような場（データスペース）を創出するための取組が進められており、我が国政府においても、データ活用基盤の構築に向け、令和3年6月に包括的データ戦略を策定しました。

こうした状況を踏まえ、競争政策の観点からも、データを活用した事業における競争をより活発にし、イノベーションを推進する方策の検討を進めていくことは、デジタル時代における日本経済の発展を目指す上で大きな意義を有するものと考えられます。

公正取引委員会は、このような認識の下、データ市場に関する競争政策上の諸論点や課題について研究を行うことを目的として、競争政策研究センター（Competition Policy Research Center〔CPRC〕）において「データ市場に係る競争政策に関する検討会」（座長：松島法明 大阪大学社会経済研究所教授／競争政策研究センター所長）を開催し、令和2年11月から8回にわたって検討を行ってきました。

このたび、同検討会における議論を経て、「データ市場に係る競争政策に関する検討会」報告書が取りまとめられましたので、公表いたします。

問い合わせ先	公正取引委員会競争政策研究センター事務局 電話 03-3581-5480（直通）
ホームページ	https://www.jftc.go.jp/ https://www.jftc.go.jp/cprc/index.html